Gastro-Health Now

認定ＮＰＯ法人
日本胃がん予知・診断・治療研究機構
Certified Non Profitable Organization
Japan Research Foundation of Prediction,
Diagnosis and Therapy for Gastric Cancer (JRF PDT GC)

目　次

◆ 岐阜県における検診車を用いた集団胃がん内視鏡検診の取り組み ……1
◆ あとがき・お知らせ……4

印刷　城南印刷工芸(株) 03-3752-3391

発行所　認定NPO法人
日本胃がん予知・診断・治療研究機構
〒108-0072
東京都港区白金１丁目17番２号
白金タワーテラス棟 609号室
電 話　03-3448-1077
FAX　03-3448-1078
E-mail : info@gastro-health-now.org
http://www.gastro-health-now.org

2021.2.15
第69号

岐阜県における検診車を用いた集団胃がん内視鏡検診の取り組み

はじめに

2014年度版胃がん検診ガイドライン[1)]で新たに内視鏡が対策型検診に推奨され全国の自治体で内視鏡検診が広まりつつあるものの、岐阜県では実施している自治体は全42市町村中わずか3自治体（2017年3月現在）にとどまっていた。JA岐阜厚生連は8病院を有する県下最大の医療組織であり、今までにも検診事業などの予防医学に積極的に取り組んでいるが、その一環として国内3台目となる経鼻内視鏡を搭載した検診車を整備した（図1）。一般財団法人日本成人病予防会が2016年度日本宝くじ協会の助成を受け製作し、岐北厚生病院が管理運営を委託され、複数の自治体の対策型胃がん検診で運用している。

集団胃がん内視鏡検診の実際

光源装置は富士フイルムメディカル社製Advancia HDで、23本の細径スコープ（EG-580NW2）を装備している。医療スタッフは最寄りのJA岐阜厚生連病院に勤務する日本消化器内視鏡学会専門医および内視鏡センター看護師を中心に配置（検査は1日20～70件程度可能であり、遠隔地域に出向く場合には現地に洗浄室を設け内視鏡医2～4名、看護師4～5名、事務員1名を配置し、週末3日間で150～200件程度実施）している。洗浄室がない場合にはスコープは車内で簡易洗浄した後、密閉してスコープ棚に収納し帰院後に高水準洗浄を行っている[2)]。また偶発症に対応できるよう救急カートや酸素ボンベを検診車に常備している。

JA岐阜厚生連岐阜西濃医療センター岐北厚生病院
足　立　政　治

集団胃がん内視鏡検診の成果

2017年度から導入した山県市（個別検診と検診車による集団検診の併用実施）では受診率は5.0%台から11%台へ飛躍的に向上し（図2）、がん発見率や陽性反応的中度は胃X線よりも胃内視鏡が高く、精度の高い検診が実践出来ていた（図3）。検診車による集団胃内視鏡検診を受けた方へのアンケート結果から今まで未受診者だった人の掘り起こしが出来ており、さらに検診車を選んだ理由では、①近くて便利である、②経鼻であること　③待ち時間がない、ことが挙げら

図１　A: 内視鏡検診車の外景　B: 内部の様子　C: 前処置室　D: 待合室

図２　山県市胃がん検診件数の推移

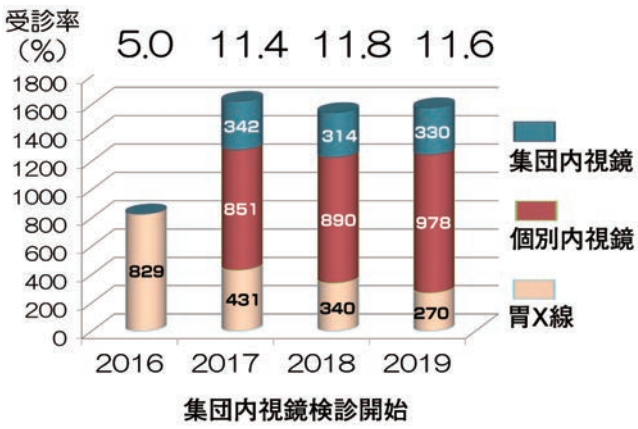
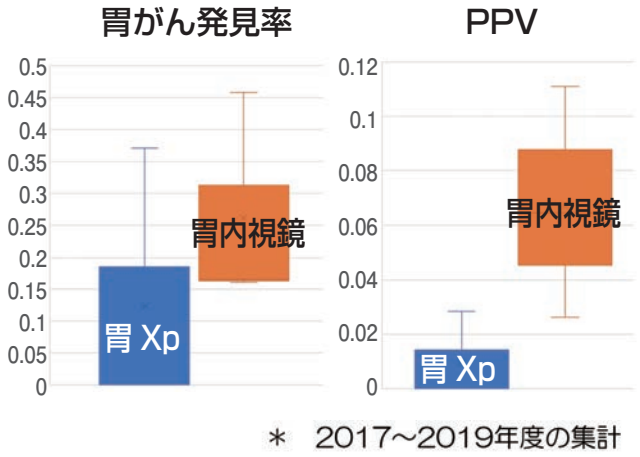


図３　胃X線検診と胃内視鏡検診の精度比較



れており受診者は利便性と受容性を重視していたことが分かった（図4）。

考　　察

胃内視鏡検査は、目覚ましい技術革新により「精査」としての立ち位置から「スクリーニング」に用いる検査として広まっており、今後ますます需要は高まることが予想される。われわれが導入した検診車は、岐阜県保健医療課が対策型検診への導入を勧奨した効

果もあって、2017年度から導入依頼が増加し、現在は県下10自治体で導入されており（2020年12月現在、図5）、2019年度の出動回数は94回、1699件（1日平均18.1件）であった。検診車での活動は検査実施だけでなく、二次読影、画像評価、結果報告郵送までの一連の業務を一括受託することを基本としており、自治体の検診担当者の負担を大きく減らしていることが広く展開されるに至った大きな要因であると考えられる。

今後の課題

まず、受診者の固定化（しっかり受診する人と、そうでない人が二極化している）を解消することが課題であると考える。受診率を高く維持出来たとしても、未受診者数を減少させなければ全体の胃がん死は減らないはずである。住民すべてが「検診を受けなければならない」と思える仕組み（たとえばがん検診を受診の有無により保険料あるいは医療費に格差をつける、などのメリハリのある政策）が求められる。次に内視鏡検診に係るスタッフ不足である。現在の画一的な対象者設定は改め、ピロリ菌感染の有無による胃がんリスク層別化などによりハイリスク対象者を絞り込んで検診を行うことが重要である（対策型検診としてはいかがなものか、という議論はあるが）。最後に、検診体制広域化（市町村単位でなく都道府県主導の検診体制）による自治体間格差の是正、医療資源の偏在の是正である。我々の検診車による巡回胃内視鏡検診は、この点において非常に有用と考えている。

結　　語

我々の活動は、胃がん内視鏡検診の導入を躊躇する自治体が抱える問題である「内視鏡医不足」、「読影医不足」そして「煩雑な検診体制確立」を同時に解決しうる取り組みである。今後もこのシステムを広く普及させることで医療過疎地区の検診活動の一助となり，全体での胃がん死亡率減少に貢献したい。また今後、続々と全国で胃内視鏡検診車が展開されることを強く期待している。

図４　検診車による内視鏡検診受診者へのアンケート調査結果

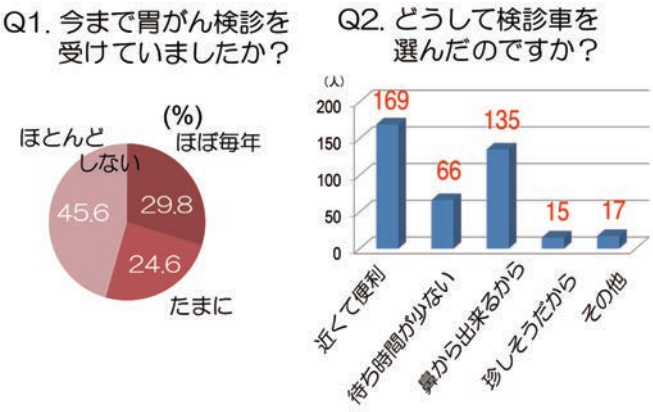
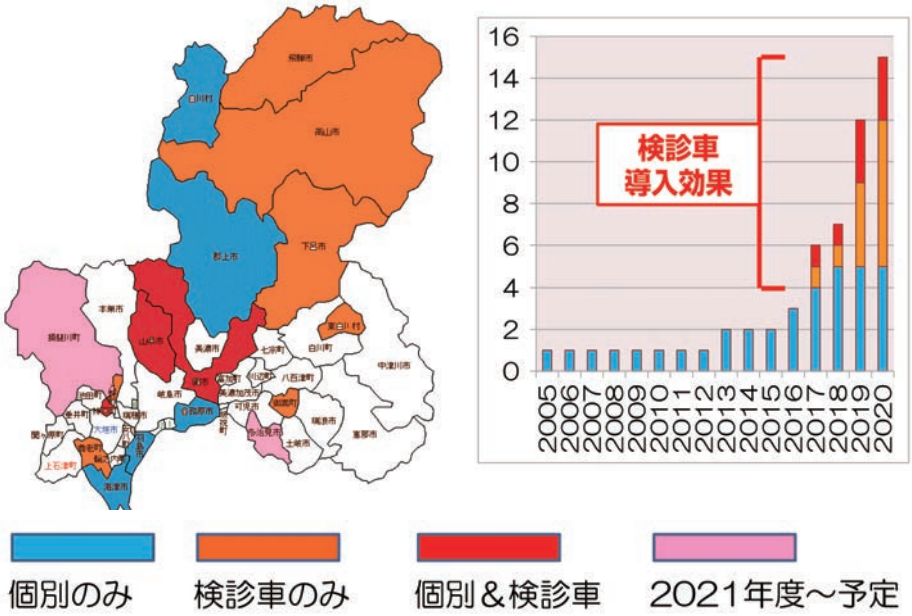


図５　胃内視鏡検診車による検診を導入した自治体



謝　　辞

静岡県池田病院（池田誠理事長・池田聡院長）よりアドバイスをいただいたことをここに深謝する。また多くの医師・看護師・メディカルスタッフの協力でこの事業が成立していることを特記したい。

文　献

1) 国立がん研究センターがん予防・検診研究センター：有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン2014年度版.　http://canscreen.ncc.go.jp/pdf/iganguide2014_150421.pdf [2019.4.16]

2) 赤松泰次、石原立、佐藤公　他、消化器内視鏡の感染制御に関するマルチソサエティ実践ガイド　日消内学誌　2014；56：89-107.

あとがき

本69号は、JA岐阜厚生連岐阜・西濃医療センター岐北厚生病院　足立政治先生による「岐阜県における検診車を用いた集団胃がん内視鏡検診の取り組み」のご寄稿です。内視鏡検診車による胃がん検診実施成績の当NPO機関紙GHNへの寄稿の初回は、GHN第20号（2012年）で、医療法人社団聡誠会池田病院院長　池田　聡先生による「世界初の経鼻内視鏡専用検診車の活動報告～一次検診・出張型人間ドックからABC検診の二次検査まで～」であります。今回は、岐阜県厚生連が国内3台目となる、富士フイルムメディカル社製経鼻内視鏡（EG-580NW2）23本搭載の検診車を整備し、日本成人病予防会が日本宝くじ協会の助成を受けて製作し、岐北厚生病院が管理運営を委託され、2020年12月現在、県下10自治体で導入し、2019年度は1699件（1日平均18.1件）の内視鏡検診を実施し、受診率5％台から11％台に向上し、胃がん発見率や陽性反応的中度が胃X線より高く、精度の高い検診が実施できたこと、等の詳細な活動内容報告であります。「今後、続々と全国で胃内視鏡検診車が展開されること」が強く期待される、大変有意義な先駆的ご報告です。コロナ禍でご多忙の中、玉稿をご寄稿くださいました足立先生に対し、今後益々の御活躍をご祈念申し上げますとともに、編集部一同、心より深謝申し上げます。　(M)

「胃がんリスク層別化検診（ABC 検診）」

～胃がんを予知・予防し、診断・治療するために～

南山堂
定価：（本体 2,600 円＋税）
編集：三木一正
認定 NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構理事長

「胃がんリスク検診（ABC 検診）マニュアル（改訂２版）」の改訂３版に位置づけられる書籍。
多くの新たな執筆者を迎え、再編成。
AI の検診領域における活用など。グローバル化に対応した各項目のタイトル、著者、所属名、および要旨の英訳あり。
ラテックスキットは実際に使用可能であり、その有用性を報告。

【主な内容】
・胃がんリスク層別化検診（ABC 検診）の運用の手引き
第１章「胃がんリスク層別化検査と胃がん発生のメカニズム」
第２章「胃がんおよびピロリ菌（感染）の疫学」
第３章「胃がんリスク層別化検診およびピロリ菌除菌による胃がん予防」
第４章「胃がんリスク層別化検査と検診」
第５章「胃がん内視鏡検診診断および人工知能（AI）の活用」
第６章「胃がんリスク層別化検査の実施法」
第７章「食道がん検診対策」（リスク評価）」
第８章「JED,　Q&A」
・胃がんリスク層別化検査・自治体実施状況
・English Summary Table of Contents

【執筆者一覧（執筆順）】　三木一正、兒玉雅明、村上和成、畠山昌則、安川佳美、牛島俊和、伊藤公訓、渡邊能行、津金昌一郎、菊地正悟、山岡吉生、浅香正博、高橋信一、間部克裕、片野田耕太、齋藤翔太、飯田真大、二宮利治、奥田真珠美、福田能啓、垣内俊彦、赤松泰次、池田文恵、島津太一、水野成人、角田　徹、鳥居　明、関　盛仁、永田靖彦、松岡幹雄、水野靖大、木村秀和、関　勝廣、小田島慎也、河合　隆、井口幹崇、濱島ちさと、小林正夫、本田徹郎、乾　正幸、加藤元嗣、権頭健太、山道信毅、加藤元彦、中山敦史、平澤俊明、上山浩也、永原章仁、田中聖人、多田智裕、藤城光弘、矢作直久、辻　陽介、鷲尾真理愛、比企直樹、大隅寛木、望月　暁、髙橋　悠、青山伸郎、伊藤史子、大和田　進、横山　顕、保坂浩子、草野元康、笹島雅彦